

週末  
子ども教室

山陽子ども  
アイランドだより

第148号

2022年(令和4年)

8月1日発行



子ども寺子屋 in 公民館

7月28・29・30日

7月28日(木)

参加者 児 童 21名  
ボランティア 12名  
保護者ボランティア 2名

7月29日(金)

参加者 児 童 24名  
ボランティア 10名  
保護者ボランティア 2名

7月30日(土)

参加者 児 童 25名  
ボランティア 10名  
保護者・学生ボランティア 3名

寺子屋3日目。昨日の反省も踏まえ、はじめての会で、勉強への注意を行いました。その効果により、前日より頑張ることができました。高学年は、この日もバッチリでした。

寺子屋2日目。この日は、低・高学年に分かれて工作と勉強をしました。工作は、工業デザイナーの真梶 絵里子先生に教えていただき「フルーツ扇子」を作りました。筒を引つ張ると、スイカの扇子が出てくるかわいくて実用的な工作でした。スイカの種は各自で描いていきます。♥の種や★の種、動物の種なども描かれています。子どもたちの発想にはいつも驚かされます。扇子になる部分の蛇腹折りが低学年には難しく、「疲れた〜。できん〜。」の声が出ている子もいましたが、隣に座っていた子が手伝ってあげて、協力しながら作る姿もありました。少し難しい工程もいくつかありましたが、みんな上手に仕上げていきました。帰りの会の時もずっと手にして、子どもたちはとても気に入った様子でした。

肝心の勉強ですが、暑さもあつてか低学年は、グダグダ状態。15分も経たない間に話始めたり、勉強道具を持ってきていない子もいたり、

体験学習は、「めざせ！たべもの博士」ということで、食育アドバイザーの深瀬 みどり先生と一緒に食べ物について学びました。「ジューズに入っているお砂糖の量は？」などのクイズ形式で、班で相談して、2択の中から答えを出します。子どもたちは、真剣に悩み答えを出していきます。クイズ形式で学びやすく、わかりやすいお話で、環境問題についても考える時間があり、一時間があつという間でした。先生の質問に、きちんと皆の前で発表できる子や、クイズや先生のお話を聞き、一生懸命メモをとる子、それぞれがとても素晴らしいなあと感じました。最後に先生から、子どもたちにお菓子のお土産もありました。配られたお菓子を使って、カロリーなどの表示の見方、賞味期限の勉強もしました。エコバックは、環境のお話と共に、もらったお菓子を持って帰る為でした。楽しく食べ物や環境について学びを深めることができました。

最後の昼食。この日もたくさんの子がお替わりし、完食となりました。付け合わせに、保護者ボランティアの有元さんからきゅうりの塩こうじ漬け。デザートに、ボランティアの塚田さんからスイカの差し入れがあり、食卓が豊かになりました。

《お願い》

・保護者宛てで配られた振り返りシートへの記入・提出に、また、参加申込書の期限は必ず守ってくださいますよう、ご協力をお願いします。

を体験することができました。  
次は、お待ちかねの美味しい昼食。この日はちよつとしたハプニングがあり、予定時間までにご飯ができていない状況に!!しかし、ボランティアの工夫や経験によるフライングプレーで無事に窮地を脱することができました。時間が押してしまいました。みんなで美味しいご飯を食べることができました。美味しく3杯お替わりした子もいました。黙食なのが、子どもたちにとって寂しい食事になっていますが、友達と一緒に食べることを楽しく思っている子どももいたようでした。

高学年はさすがです！一時間静かに集中し、ボランティアが必要なのでは!?!と思うくらい頑張っていました。  
昼食は「肉味噌うどん」で、「予想通り美味しい!」の声もあり、子どもたちも気に入った様子でした。

最終日OBボランティアの小川君が参加してくれ、子どもたちも嬉しかったようです。3日間暑い中、子どもたちはよく頑張りました!



子どもたちの感想(3日間)

- ・星に興味があったから、とても楽しかった。(1日目)
- ・望遠鏡で空をみたり、色々なクイズをして楽しかった!(1日目)
- ・フルーツ扇子は1mm以内でずれないように頑張った。(2日目)
- ・フルーツ扇子の作りがどうなっているのかわかりませんでした!(2日目)
- ・食べ物博士のクイズが楽しかった!嫌いなネギを頑張って食べた!(3日目)
- ・食べる時や、食べ物を買うときには食品ロスに気を付けたいと思った。(3日目)

赤磐市立山陽公民館

〒709-0827 赤磐市山陽 1-10

TEL(086)955-9777

Mail:sanyo-komin@city.akaiwa.lg.jp

